

国の緊急包括支援交付金の抜本的拡充

〇 新型コロナ緊急包括交付金の増額及び対象拡大

新型コロナ感染症の事態長期化・次なる流行の波に対応するため、新型コロナ対応を行う医療関連に対する支援と併せて、その他の医療機関に対する支援を実施。

感染拡大防止と次の波に備えた今後の取組の方向性

- 〇 医療提供体制の確保
- 〇 院内感染対策の強化
- 〇 医療従事者への支援
- 〇 検査・検体採取体制の充実

(括弧内は6号補正までに係る現計額を参考で記載)

1. 医療提供体制の確保

(1) 受入医療機関等の病床確保 **1,033億円**

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れるための病床を確保する。

重点医療機関等の病床確保	1,033億円	(141億円)
--------------	---------	---------

(2) 受入医療機関等の施設設備整備 **116億円**

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の整備を行う。

専門病院(十三市民・阪和第二)の施設設備整備	5億円	(新規)
入院設備の整備	81億円	(26億円)
重点医療機関における高度医療設備の整備	30億円	(新規)

(3) 感染拡大期に備えた医療提供体制の強化 **20億円**

次なる感染拡大期に備え医療提供体制の強化を図る。

(仮称)大阪コロナ重症センター整備	16億円	(新規)
医療従事者の派遣促進	4億円	(新規)
	※債務負担15億円(-R4)	

(4) 宿泊療養施設の整備(危機管理室共管) **13億円**

事態の長期化、次なる感染拡大に備えるため、軽症患者を受け入れるための宿泊療養施設を確保する。

宿泊療養施設の確保	13億円	(30億円)
-----------	------	--------

(5) 帰国者・接触者外来の整備 **17億円**

疑い例を診察する帰国者・接触者外来が感染拡大に十分対応できるよう体制整備を行う。

帰国者・接触者外来の設備整備	17億円	(3億円)
----------------	------	-------

2. 医療従事者支援

(1) 医療従事者支援 **343億円**

医療従事者等への慰労金支給	313億円	(新規)
新型コロナ助け合い基金	30億円	(30億円)

3. 院内感染対策の強化

(1) 救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策 **159億円**

疑い患者受入のための医療機関の院内感染防止対策に係る支援金の交付

〇救急医療(精神医療含む)	130億円	(新規)
〇周産期・小児医療	29億円	(新規)

(2) 地域医療機関の院内感染防止対策 **210億円**

院内感染研修及び、医療機関等(病院・診療所・助産所・薬局・訪問看護ステーション)における感染防止等の費用の補助	210億円	(新規)
---	-------	------

(3) 院内感染防止対策の強化 **46億円**

研修、専門家派遣、医療物資の保管管理・支援	1億円	(新規)
医療機関や地衛研等におけるPCR検査機器等の整備	45億円	(新規)

4. 検査・検体採取体制の充実

(1) 地域外来・検査センターの設置 **16億円**

更なる検査体制を確立するため、帰国者接触者外来に加えて検体採取・検査を集中的に行う「地域外来・検査センター」を設置する

地域外来・検査センターの設置	16億円	(新規)
----------------	------	------

(2) 検査体制の強化 **4億円**

検査体制の拡充と検体採取体制の充実を図る

ドライブスルー方式等による検体採取体制の充実	3億円	(1億円)
検査体制の機能強化(京都大学IPS細胞研究所との連携)	1億円	(新規)

5. その他

(1) その他 **48億円**

第1次緊急包括支援交付金事業の継続など	48億円	(106億円)
---------------------	------	---------

補正7号計 2025億円(うち危機管理13億円)
補正6号まで計 337億円(うち危機管理30億円)